

「淫乱寝取られお母さん 生城綾子」

第一話：幸せな家庭を手に入れた私に掛かって来た、過去からの電話。

「こおら！ そうちゃん こういちっ！ 食事中はおとなしくしなさいってお母さんいつもいってるでしょっ！ 大人しくしないと お母さん怒るわよ！

まったくおかず一個で取り合いなんかしてえ。ふう 仕方ないから…ほらっ あなたもほらっ お母さんの一個づつあげるから。おとなしく食事しなさい。くすっ。

んふふっそ〜んな嬉しそうな顔しちゃって。どう？ おいしい？ んふ 良かった。だってお母さんの唐揚げ 天下一品ですものね。

あらっあなた、今日お酒少ないんですね？ 明日お仕事お忙しいの？ そう でも早く帰ってきてくださいね？。どうしてって？ だって明日はこうちゃんのお誕生日だもんねっね〜〜 こうちゃん♡

うふ ねえ、こうちゃん 何か欲しいものあるかしら？ なんでもいいわよ？ え？ 参考書？ あらあっそんなものでいいの？ それだったらお母さん、別を買ってあげるわよ？

んふ、控えめなんだからあ。もっと高いものでもいいのよ？。んふ まったくあなたは欲がないんだから。

でも偉いわ 今の子って ゲームがほしい、携帯の新しいのがほしい とかそんな感じなんですものね。でも ほんとに参考書なんかでいいの？ んふ、予備校で使うから？ んふっ ありがとう お母さんあなたがそんな優しい子で嬉しいわ。大学に受からなかったからって、そんなに切り詰めて勉強ばかりしなくてもいいんだから。人生勉強だけじゃないんだし。

こら！ そうちゃん、あなたはこないだ新しいゲーム買ってあげたばかりでしょ？。それにお誕生日とつくに過ぎてるんじゃない。だあめ、お母さん絶対に買ってあげないんだから。

え？ もお！ あなた！ そんなにポンポン物を与えないでって いつも言ってるじゃない。まったく 優しいんだから。もおお！」

生城綾子。それが今の私の名前。息子のそうた 18 歳、こういち 19 歳。今は二人の息子と夫と、幸せに暮らしている。生まれた時からの名前だけど、私には家族には絶対に言えない秘密がある。もしそれを知られてはこの家庭を崩壊させ、私がつけているこの幸せを手放すハメになる。

AV 出演シーンの回想

「はあっ はあっ はあっ はああ！ んひいっ いひっ いひいい〜！
はひっ はっひ はっひ はっひ！ んっひいい〜〜！
んっひ んっひ んっひ んっひい〜〜！
あひ あへあ あへえっ あへっ あひっ もっとお〜〜 もっとおおちんぽで突き廻してえ〜〜！ ああああ〜〜！
あ！あ！あ！あひ！はひい あひいっ

んひいいい〜〜〜 いく いっく いくいくいくいくっ いんぐうううう〜〜〜。
ふひいいい！！はへっ あへっ はへええ〜〜〜！！」

私は 20 代の前半から後半。AV に出た経験がある。AV 以外にもかなりの数のチンポとハメ狂った。オマンコされるのが、ちんぽを突っ込まれかき回されることがこそが最高だった。男のちんぽをじゅるじゅるに舐め回すことは最高に体を熱くした。

乱交 スワッピング ハメ撮り。アナルセックス。激しいのは何でもやった。その中でも特にアナルセックスが大好きだった。中年のおやじのチンポに後ろからアナルファックされ それ以来病みつきになった。

23 の時 エロホテルで徹底的にアナルを犯され、ブタ野郎のメスブタペットになったこともある。そしてそれからほぼ 2 年間、その家に飼われ そのご主人様のメス奴隷として徹底的にアナル調教された。

んじゅっ んじゅるるるるるうう〜〜んっ んぽっ んっぽあっ んぽっ ぶぽっぶぽっ
ぶぽっぶぽっ んっっぽおお〜〜〜っ
んじゅる んじゅる あへああ〜〜〜んむっ あむっ あむうん はむっ あむっ ん
じゅるるるうう〜〜。
んごお！！ んごっ！んごっ！んごっ！んごっ！んごおお！！

んぶぽっ ぶぽっ んっぽんっぽんっぽんっぽんっぽ ぶぽおっ ぶぽっ んぽっ
んんあ 出たっ精液でたあ〜〜
はむっ んじゅっ んじゅっ んじゅっ んんんん〜〜〜 んぶっ すごっ ごくっ

ごくごくごくっ んごくっん^ごくうっ んごくんっんごっくん ごくっ ごくっ
ごくっ ぶはっ ぶはああ ぶっは〜〜 んふ ごちそうさまです。ご主人様。

毎日毎日ちんぽを舐めた。吸い上げた。射精させてあげた。多い時は一日 30 本は口でぶっ
ぽぶっぽ抜きまくった。

「あはっ ねえこうちゃん そうちゃん見てよっ おっかしいの。ご飯口に詰めすぎて
こ〜んなに顔がふくれちゃってる！ あははははは お母さんおっかしい〜〜。あはは
っ。あはっ。

ん、そうそう。そうだわっ 今度の日曜みんなで映画でもどうかしら？。今流行りの え、
ええ〜〜っと なんだっけ？あの俳優さん あれ あの〜。

あ！そうそう それそれっ！ さすがお父さん映画に詳しいんだからっ 無駄に集めてな
いわねっ んふっ。その映画みんなで見に行きましょう？。そして帰りに みんなで何処
かでお食事しましょ？。

んふ、お店選びはお母さんに任せてちょうだい。うふふっ こないだお友達にね すっご
いイイお店紹介してもらったの、ほ〜らこれ見て。なんと高級レストラン 光御膳（ひか
りごぜん）の半額割引券でえ〜〜す。ンフッ、いいでしょっ？

でも、残念でした。これ、普通の食べ放題コースなのよ。だってあそこの単品で出てくる
の一皿5千円とかするのよ？どう考えたって無理だわ。

なに？ 文句でもあるのかしら？。もしかしてお母さんを破産させるつもりなの？。

ね〜え、こうちゃん、破産宣告っていうのしたらっ もう何も相手に払わないでいいのよ
ねっ？

んふふ〜〜 さぁみんなどうする？食べ放題で我慢するか、それともお母さんに高級料
理代を払わせて破産させちゃって、それから毎日お茶漬け、いえ ふりかけにするのとど
っちがいいかしら？。

んふっ 決まりね。じゃあ 特別にデザートも頼ませてあげる。

んふっ、こおらっ そうちゃん！ 椅子から飛び上がって嬉しがるんじゃないの。まったく。
もおお！お父さんとこうちゃんまで真似しないでよ〜。んふふっ

ほらほらっ 食事さっさと片付けちゃって。お皿終わらせてから、お母さんオフロ入って
テレビ見るんだから。だあめ、そうちゃん。今日はお母さんがテレビを見る日。お皿そう

ちゃんがぜ～～んぶ洗ってくれるんならあ 変わってあげてもいいけど？。んふ。
はあ～いごちそうさま。はあそんなみんなで おいしかった～って言っちゃって、お母さん照れちゃうじゃない。もお。んふふ。」

AV 出演シーンの回想

「んぱっんぱっんぱっんぱっ んっっぱああ～～～ あむっ あむうん はあむっ あむっあむっあんむううう～～～
んじゆるっ んじゆるるるる～～ んじゅっ んぱっ んぱああ～～～ ンむっんむっんっむうう～～～ はむっ あむっ はむっ ンむっ あへあああ～
もっとお！ もっとキスしなさいっ ホラッ もっと！ あむっ はむんっ はむっ あむっ はむはむはむはむはむはむう～～。

んふ。こおら逃げないの。手コキ気持ちいんでしょ？はむっ あむっ あむ あむ あむ あむ はむう～～ん。

これはあ この動画の題名はねえ 童貞小僧痴女手コキで強制連続射精ッって言うの。金玉空になるまでお姉さん達が絞ってあげるっていう AV なんだから。金玉カラにするまで帰らせられないわ。絶対逃げられないから。

これからたっぷり、あんたのちんぽ コキおろして気絶させてやるの。

ところでどう？代わる代わるお姉さんたちにキスされて、手コキされまくってるあんた？おちんぽイイ？

気持ち良くてまた出ちゃうの？。あはっ

ところであたしで何人目っ？んふ17人目なんだっ でもほらっ あたしのほうがっ ほらほらっ！ 一番気持ち良いんでしょっ！ ほらっほらっほらほらあ！～って言うてる間にっ 出てる出てるっ もう出てるっ！

だせだせっ！おらおらっ！もっともおっとおしまくれ～～ ほらっ ほらっ ほらっ ほらっ！

んはあ あむっ ンむっ ンむうっ ンむっ あむっ はぶっはぶっ へはぶはぶはぶはぶはっふう～～～ん んじゆるるるるる～～～ううっ ンっぽおおおっ ンぽっ ンぽっ ンっぽおおお！

んふっ ほら出たっ 出た出たあ ちん汁出たあああ～っ 変態チンポから ちん汁また出たああああっ。

これぞ、秘技 連続射精っ！ んふふふふふっ。どうする？このまま潮吹きも体験しちゃうっ？あはっ。

んふ まあだ漏れてるわ。このエロチンポまあだ精液漏れてる。んふ エロイわねっあん

たのちんぼ。出しても出してもピンッピンなのねえ。まあ立ったら抜くだけだけど。
そうよ～？立ったら抜くの。ちんぼこすってこすってこすりまくって抜きまくるの。んふ、
いくら鳴き入れようがちんぼしごき倒すわよ。

え♡苦しいの？んふっ だったら泣いて頂戴。私 男の子泣き喚かせながらっ ちんぼっ
思いつ切りしごくの、だぁ～～っイ好きなのっ、んふうっ！

っはむっ^はむっん^んむっ んぶっ んっぶう んぶっ んっぶう
あむっ はむはむはむっ はあむっ はあ～～んむっ んむむむむう～～～！
ほらっキスはどう？気持ちいい？だったら とっくとイキなっ！
おらっ イケっ さっさとイケっ いけいけいけえ～～っ。んちゅちゅちゅちゅううう～
～～。」

童貞の男の子を泣かす。伊っても伊ってもおちんぼをしごき倒す、口でじゅっばじゅっば
にゆるにゆるに吸い回して射精させる。無理やりおまんこして泣き喚かせる。初アナルを
徹底的にしゃぶる。

縛ったままチンポの先に電マを当て続け潮を吹かせながら泣き喚かせる。

18歳になったばかりの子のちんぼにむしゃぶりつき たっぷりと女を教える。

そんな若い子をドエスに攻め抜くことに、私は次第に興奮を覚えていく。

他のことはもう大抵やりまくったから対して興味が無くなっていた。そんな18歳の少年と
遊び攻め合っているうちに ふいに見せる少年の笑顔を見て、いつしか、私は幸せな家庭
が持ちたくなった。

可愛らしく笑う男の子達に胸がトキめいた。そして男の子が欲しい。自分の息子が欲しい。
幸せな家庭で 息子たちと幸せに暮らしたいと強く願うようになり、それからすぐにAVや、
裏世界を卒業した。

この心の奥底へ封印した今までの過去は、息子達が大きくなるに連れ、私の意識からも消
えていった。そして私は今、念願の幸せな生活を送っている。

それに、もちろん夫や息子たちは 私がAVに出ていることや、いろんな男とオマンコして
自堕落な生活をしていたことを知らない。いや絶対に知られてはいけないのだ。

明るい食卓が終わり 楽しく食器を洗い、家族団欒のコーヒーを出した直後、電話が鳴っ
た。

(電話音の挿入)

「あら？電話ね こんな時間になにかしら。待って、いいわお母さん出るから。
お母さんセールスの電話だったらすぐ追い返せるから安心してよね？。んふっ
はいはあ〜い！今出ます。んっしょつと。」

受話器を取り、明るく挨拶を返す。
私の知らない、若い男からの電話。
それはすぐに、私をそこから叩き落とした。

結婚してから最悪の電話。
私の体から力が抜け、腰が抜けそうになった。

「あなたの若いころのAV、たくさん持っているんです。言うこと聞かないと家族に見せちゃいますけど？」

私の過去を知っている若い男。誰かは分からない。。。だがそれは絶対に周りには知られてはイケナイこと。
私はこの幸せな家庭を守る為に、武器を持って。こいつの口を塞がなければいけないのだ。

「はあっ はあっ 今家族がいるの。あまり大きな声で話せないの。ね、お願い電話切らないでね。ねえ どうすればいいの？。どうすれば黙っててくれるのよ？」

大体 若い男が女に対して何を欲求するかは想像がついた。
んふ、やっぱりそうだ。私を呼び出してセックスしたい それが そいつの要求だった。
こんな小僧なら、長年培ってきた女のテクニックは 私の中でも最高の武器になる。

「はあはあっ いいわっ いつどこへ行けばいい？。できるだけ昼間にしてください。
はあっはあっ んはあ〜。」

笑わせてくれる。このセックス上級者の私とおまんこして 墮とされる理由（わけ）がない。逆に私が墮としてから 言う事をなんでも聞く様な奴にしてあげる。
待ってなさい。私の奴隷にしてやるわ。
私を少しでも不安にさせたこと、許すつもりないの。

それでも その考えは置いて置き、しおらしく話し続ける。

「わ、わかったわ。今度の金曜、〇〇駅の裏通り、ラブホテル街の通路に行けばいいのね。ね、ねえ ほんとね ほんとに黙っててくれるのね。ええ、はい。分かりました。はい 行きます。必ず行きます。だからっだから内緒に。ええ、はい。もっ もう家族が心配しちゃうから、はい、絶対行きます、そ、それじゃ、はあ。」

受話器を置く。やってやろうじゃないの。私を舐めたこと 絶対後悔させてあげるから。

「んふっ だいじょぶっ なんでもない電話だったわ。間違い 間違い電話 ただのっ。あはっつ あははははは。
お、お母さん今日ちょっと 気分すぐれないからっ、早めに寝ようかしら。え、ええ、大丈夫、うん大丈夫大丈夫っ
じゃっ じゃああ お母さんもう寝るからっ、そうたもこういちもちゃんと歯磨いて寝るのよっ。はいはい。
あ、それじゃあなた、私先に寝かせて頂きます。え、ええ大丈夫、寝れば良くなると思いますから。そ、それじゃ おやすみっなさいっ。」

若い男にホテルの部屋に連れ込まれ、かなり長い時間犯された後。

「はあっ はあっ！はあっ！はあっ！ こっ このケダモノっ いきなり私をホテルに連れ込んで、んはあっ！ぶはっ ぶはっ んはっ んはあっ！ 部屋に着くなり思いつ切り犯しやがってっ。ファックしやがって。

んはあ はあっ はあっ はあっ んっはああああ〜〜！。

んちゅっ ぶちゅっぶちゅっ ンむっんっちゅっんっちゅう むじゅっ んじゅるるっ んじゅるるっ ンむっ ンむうっ はぶっ はっぶう はむっ はむっ あむっ はっ ぶううう！

どうしたの？もっとキスしてご覧よ？ んはあっ はあっ はあっ はあっ どうせ私が昔出演したAVを見て やっている相手が羨ましくなって。それで私を指名したんでしょ？ はむっ。

ねえ あたし母親なんだけど？ 知ってて脅迫 強姦しちやってるんでしょねえ？んん？

んむっ あむっ はむっ はむっ んっむううう〜。ねえん、訴えてもイイ？、ね？
んふ あんたっ？さっきから正常位ばっかだけどさあ？セックスっぜんっぜん慣れてない
のねえ。あはっ笑えるわ。このお子様がっ。ほおらこのグラインドどうかしら？
子持ち母の素敵なグラインドお〜。ほらほらっ ほ〜らっほらっ ほおらあっ。
んふっ気持ち良いの？ だったらほらっ 大声でお母さんのグラインドっきんもちいい〜
ん！って叫びなさいよっ ほらっ ほらほら〜っ どうせこの部屋大声出すように作られ
てんだからっっ ほらっ ほらっ！

んふっ出そう？また出るの？ またなの？ くす。だめっ 逃がさなあい。ほおら！こう
やって足であんたの腰挟み込んで逃げられないようにしてあげる。こうやって転がってえ、
そのままっ 騎乗位っ！ あはっ！。

ほおらっ いっくわよ〜 上からキスっ しまくってあげるからっ！

はぶっ はむっ あむうんっあむうっ。んむっ ちゅばっ ちゅばあっ ちゅっちゅっち
ゅっ んっちゅううう〜。

んちゅっ ぶちゅっ むっちゅうううっ むちゅっむちゅっ んむっんむっんむっ ちゅ
ばっ ちゅうっぱっ ちゅうっぱああ〜

んふっ 出しなよ？ ちんぽから精液ぶっどばしてみなよお？

でもおもしろも赤ちゃん出来ちまったら あんたの家に殴りこむからね。お母さんに大き
くなった私の腹見せて あんたに、 ん〜〜〜ちゅうっ ちゅっちゅっちゅううっ 責
任取らせてあげるわあ〜。

んむっ んむっ んひっ あはっ でてるでてるう♡ あんたの精液がおまんこの中で弾
け飛んじやってるよお〜。まだまだっ 激しくロデオしてあげるっ あはっ あはっ
あはっ あはっ んっは んっは んっは んっは んっはああああ〜っ！

どんだけ出してんのっ あんたっ。 あはっ！できるわよっ？赤ちゃんその年で出来ちや
うわよっ？

んふ いいのね？ 出来ちやつてもいいって言うのねっ んっ んむ んぶっ ぶちゅっ
ぶちゅっ んぶっちゅっ ぶっちゅっ んぶっ んっぶ んっぶう〜。ぶはっ ぶは
っ ぶはあ。」

それから数時間後。

「んはあっ ぶはあ はあっ はあっ ほおら そろそろ終わりなんじゃないの？。
屋前にここに連れ込まれて今はもう夕方。8時間もあんたのちんぽにハメられちやっ
てるんだけど、そろそろちんぽ へなへなあ〜っってなって勃起しなくなるんじゃないのお〜

～？ クスクスクスう。

おっ？ 今度はバック？ ふう～ん なかなかドスケベなエロガキじゃないの、あんた。

じゃあほおら はいっ どうぞお～ 後ろから思い切りやって頂戴？

んひっ！ あっ あうっ んひっ！ んひっ！ あっ うっ あうっ！ んふ 結構激しいのね？。こっちの方が少しはヤリ慣れてる感じだわね。

あうっ はん あっ いいっ

あひっ あうっ うっ おうっ おひっ はんっ はあんっ

あっ あうっ くっ くらうう～～。

い、いいっ イイ感じだわっ ねえっところであんた 母親は何歳なわけ？

あうっ うっ おうっ おおっ うおっ んあっ ああっ んあ

んふ そうなんだ 私と同じ位な年なんだ？。

へえ～～ あんたもしかして母親フェチなわけ？。

んあっ あっ あひっ んあっ もしかして母親寝取っちゃうのがあんたの趣味なわけ～？

あはっ 人の家のお母さんのお尻はどうかしら？ 気持ち良いのかしら？。まったく 人の家の母親を脅しておいて自分は思い切りチンポピストンして もうどうしようもない最低のクズ野郎だねっあんた。

あっ んあっ いいっ ピストンっも、結構早いじゃない？。あんっ けっこうキクかもっこれ。んあっ

はあっ んあっ あっ はへっ あへっ あへっ あへっ はへっ はふうっ んふううう～～～

あひっ んぐっ お おおっ おおっ 出てる 出てるうう～～

んはあ あっ あひっ んあっ あっ あっ あうっ あっへえ～～！

あんた射精しながらピストン出来ちゃうタイプなんだあ？。ほおらお母さんのお尻 もっともお～～と突き回してご覧なさい。パンパン音立てないっ、お母さん怒っちゃうわよ？

え？ あはっ あんた今私の事お母さんって叫んだ？。あはっいやらしい子。

自分の気持ち良さのためなら平気で人の事お母さんって呼べちゃうんだ。へえ～

あっ あんっ あっ おひっ あひっ はひっ んふっ んふう～～。あふっ んっふうっ

ねえあんたはどうなの？それだけヤリチン小僧なんだから、やっぱり自分のお母さんとももうヤリまくりなの？

あひっ んはっ はっ あはっ ピストン激しくなったあ。

んふ 凶星なんだ？、あんた自分の母親ともセックスしちゃうド変態さんなんだ～。そう

よね じゃなきゃ私の事脅してからファックなんてしないわよねえ。

んあ！ あっ いいっ！ あっ あひっ！ んひいいっ あっ いくっ あっ あひっ
いくいくっ 腰が早くていいっ あっ チンポピストンはやっい あっ あはあっ
あ！ あ！ あ！ あ！ あひっ いくっ！

あひっ いぐいぐいぐいぐいっぐうう~~~~ んひいいいいいい~~~~。

んはあ はあっ はあっ はあっ んっはああああ~~~~。

くうっ出てるっ まだ出てるっ やばっ すごっ イッてる間中 精液に子宮叩かれてる
っ

あひっ またイクっ あひっ あ！あ！あ！あ！っ あっひいいい~~~~！！

ふうっ ふうっ ふうっふうっ んっふうううう~~~~。

あはあ はあ はあ んはあ~~~~。

んふ〜？ どうしたんだい？もうギブアップかい？ 私のそばで体 休めちゃって。

んふ。エロイ事聞くんじゃないの こんな お互いやりまくった後で、はあはあいいなが
ら ベットの上で仲良く寝転がって休んでるトコなんて あの子達には絶対想像もしやし
ないって。いい？絶対秘密だからね。私とやりまくった事 絶対 あの子達に言うんじ
ゃないわよ？。わかったわね。んちゅっちゅううっ

んはあ〜っ はあっ はあっ どう？ やり合ったあと、横に寝たまま おっぱいやオマ
ンコをっ 揉んだりいじったり、更に意味もなくちんぽしごかれたり。

大人のセックスっていやらしいでしょ？こういうのアフターセックスって言うのよ。知ら
なかったでしょ？

どう このまま、またシックスナインでもするかい？私とイカセ合いの勝負でもまたやる
かい？。

あはっ あははははっ って え？なに まだするの？。んふ やっぱあんた最低のスケ
ベ野郎だわね。

あんっ くひいっ！ もっ もう出しちゃってるじゃないの。亀頭だけおまんこに突っ込
んで射精。

あひっ すごっ まだ出てるっ あひっ はひっ あひ はひい~~。

んはあ はあ はあ もしかしてあんた 射精する為だけに、今私のまんこにちんぽプチ
込んだの？。まったくこのスケベヤロウっ ほんとどうしようもないわ。話す価値もな
い最低のチンポ野郎なんだねっ。

んあっ あっ あんっ あうっ うっ う うっ ううっ うひっ あひっ あひっ あ

っひ〜〜〜！。

はひっ まっ また出てるっ

あふっ あひっ んひっ あひいっ

んあっつ あっぐ あひっ んふっ んっふ んひっ あひっ はひっあひっ あひい
い〜〜〜。」

夜の8時

「あむっ あ〜〜んむっ はむっ はっむう はむっ あむあむあむあむあむうん！

んじゅっるじゅるるっ んばああっ

んぶっ んぶっ んぶっ んぶううっ ぶぼっぶぼっぶぼっぶぼっんっぼおお〜

んじゅるっんじゅっ んれろっんれるっんれろ〜〜〜ん べろべろべろべろお〜
〜〜ん、んごくっ。

ね、ねえ そろそろ帰してくれないかしら。さすがにもう夜の8時に母親が家に帰ってな
いってのは心配されちゃうから。

あんむっ あんむっ あむあむあむあむあむあんむう〜〜〜っ つじゅる んじゅるっじゅる
るっ んぼっんばあ〜 んっぼぶっぼ んっぼおおおお！

こ、これイカセたら シャワー取って帰るからねっ もう これに懲りたら家に連絡して
くるんじゃないわよ？ わかったわね？。

はむっ！あむあむあむあむあむあむう〜〜〜ん んべろべろべろべろべろべろお〜〜〜

んんじゅるっ じゅっ じゅぼっじゅぼっじゅぼっじゅぼっ んんっぼおおおお〜

ほおら いきなっ！ずじゅるるるるるる〜〜〜！！ずるるっ んじゅるるっつ ん
ぶじゅるるるるるる〜〜〜〜〜んんん〜

んへあ 出た出たっ ちんぽ汁出たあ〜〜〜 あ〜〜んむっ んじゅっる んじゅっ

んじゅっ んじゅっ んじゅっる んジュルルっんじゅるるるる〜〜〜ん

んぶっ はっ はあっ ごくっごくごくっ ごくっんごっく っごく ごっく ごっく
ごっく ごっくん、んっぶうう〜〜〜 んばはあああ〜〜、はあはあ。

じゃ じゃあ 私シャワー浴びてくるから。アンタ。もう帰りなさい。」

私は8時間連続でファックされた自分の体から 暑いシャワーでスケベ野郎の大量の精液
を洗い流す。

「はあっ はあっ んふっんふう〜〜〜。 まだオマンコの奥が疼いてるわっ 乳首も
まだ こんなにっ ビンビンっ んあっ。

ひ 久しぶりだったからかしらねっ セックスってあんなにっ んはっ 凄かったのね。
すっごいおまんこ気持ち良かったわ〜。

んはあ は はあ クリトリスっ軽く触れるだけでイケちやいそう。

んはあ はあ はあっ んっは んっは んっは んっは んはあ~~~~ くひいいい
いい!

ち、乳首も 抓ったらもう一回イケちやいそうっ んあひっ あひっ ひっあ あ あぐ
っ いいっ すごっ 感じちやうっ んはあ あの子のセックスすっごく激しかったわっ

早いけど何度も何度もおまんこされてっ んあっ あっ もっ もう少しヤラせてたら
どうなってたか分からなかったわねっ もう少しヤラせてたらっ私ヤバかったかも。

あっ んあっ あっ あっ あぐっ あひっ んひっ 若い子の激しいセックスすっごい
良かった、あん、昔思い出しちやうっ んあっ

あっ あんっ あっ あひっ 久しぶりにイキまくっちゃったしっ んあっ あっ あ!
いくっ あっ!あひっ!はひっはひっあひっ んひっ んひいいい~~~~」

ビクビクビクビクウツッ ぶるぶるっぶるるっ! 体を震わせながら私は絶頂する。

さあ早く家に帰らないと みんな心配しちやうわ。

くちゅりっ

名残惜しく感じて、おまんこの割れ目に指を入れる。息子の顔が目に浮かぶ。

さあ綾子ここを出るの、ここを出て家に帰るのよ。

シャワーを終えた私は黒のレースのパンティを履く。他の服は部屋の中で脱ぎ散らかせて
あるからだ。

「ふう~~~~いいシャワーだったわ。ってあれ、あんたまだいたの? さっさと帰りなさい。
じゅないとあんたの親にちくるわよ? 私とこんな時間までオマンコしてましたって。
って、あれ、私 服どこに置いたっけ? え?、あれ? 私の携帯、ん? バックも見当
たらないわ。って、あれっ?。」

ねえアンタ 私、服とバックどこへ置いたっけ? 覚えてない?

あっ きやっ! ちょっとなにしてるのっ あんっ だめっ 精液ぶっかけないでちょう
だい、あんっ やめてっ!

やめてっっていつてるの、きこえないの! あんっだめっ! このおっ!!」

ばちん！ 思い切り若い男の横っ面を叩く。おっぱいが男の前でぶるぶるっ ぶるるんっ と揺れた。

若い男は倒れながら射精し、ビチャビチャと私の体中に精液を撒き散らしていく。

「もお！ せっかくシャワー取ったばかりなのに、こんなにたっつくさんの精液、体中にぶち撒けやがって。あん？、何笑ってるわけ。はあ？んっえ？ もしかして。」

私の股間めがけて射精された精液が だろだろっどろろ〜とオマンコの土手の肉を通り過ぎながら 床にぼたっ ぼたたっ と 滴り落ちていく。

熱気を帯びた むっちりした太股からも精液が床に向かって走り落ちていく。

私はパンティー一枚で シャワーを取ったばかりの体を精液まみれにされながら、彼の目を見て言った。

「あんた 捨てたわね。私の服。

そこの空いてる窓から。 私の服とバック、そして携帯まで外に捨てたわね？。このっケダモノ！」

私は思い切り彼の顔を蹴りあげた。大きなおっぱいが卑猥にぶるるんっ と激しく踊る。

足の間でうずくまる男の顔を、尖った乳首ごと見下ろす。

「はあはあっ んはあっ ごく。 はあはあ んっはあ〜あ はあっはあっ はあっはあっ っ んはああ〜〜っ、んごくっん。」

私の興奮は なぜか異様に高まっていた。最高潮だと言っても良かった。

私の行為の目的と 彼の行為の目的が最低なラインで合致したのだ。

おっぱいを揺らしながら下着一枚の姿で 若い男を叩きながらナじる。それがまんこの奥を派手に感じさせた。男の顔を叩き火花を上げさせる。それが同時に、私のおまんこの中にも火花を散らす。

脚の間でうずくまった男がそのまま私の、最後の小さな黒いレースのパンティを左右から掴む。

私はゆっくりと腰を、彼の目の前へ突き出していく。そして何度も左右に 往復ビンタを繰り返す。

「はあっ はあっ はあっ はあっ っんはあ。服が無いんじゃ家に帰れないわねえ。しかも 私の最後のパンティもあんたのちんぽ汁、大量にぶっかけられてっ もうドッドロ〜っの真っ白状態。。

これはもうっ はあはあっ ヤラレまくりのヤリまくりっ ずっこんばっこんのハメまくりパーティしか残されていないんだわねえ。。

んはあっ はあっはあっはあっ!

おいこら!。聞いてんのか!この ド変態のヤリチン野郎が。ド変態のドスケベ野郎が!。セックス好きのド変態ヤリチンポ野郎が!

まったくどうしようもない最低のクズ野郎だわね あんた!。そうっ さいっていのクズ野郎のクズチンポ野郎だっって言うてんよ。

今まで私がヤッてきた男の中でも最低ランクだわ、あんた。

でもっ。異常なくらいに興奮させてくれるわ。私のおまんこがっ、もうう疼いて疼いてっあっつくて仕方がないのよ。」

ゆっくり ずりずりとパンティが引き下げられていく。

「わかったよ。もう好きにしまっ!。気が済むまで私をファックしな。お前の気が済むまで私で好きなだけ気持ち良くなりな。ただし途中でギブアップなんてしたら 絶対に許さないからねえ、覚悟しなよ?。

ほらっ どおした? まずはクンニ してもらおうじゃないの?。

アナルに舌を潜り込ませて、アナルの中を舌ドリルで思い切りかき回して頂戴。ついでにクリトリスもしごき倒して頂戴。あんたなら出来るでしょ? ド Hentai だから。

ああ、そうそう私。アナルセックス大好きだからっ。このあとたっつぷりその Hentai チンポで、アナル調教して頂戴。

んあっ あっ はあっ はあっ はあっ はあっ んふ♡やりまくってやろうじゃないの、久しぶりにさ。まったくいい度胸だね、あんた。大人の女舐めたらどうなるか、たっつぷりとそのチンポに教え込んであげる。ほんとに、あんたの親の顔が見たいもんだよっ。そうよっ この Hentai チンポで可愛がってもらっているアンタの母親の顔が見たいって言うてるの。

さあ 初めようか!あんたに女の凄さ、たっつぷり仕込んであげるわ。

さあ!来なよおっつ! 来な来なあ〜っ んふ。」

一週間後 私は家に帰った。気がついたら玄関先に立っていた。服はなぜか着ていた。玄関ドアを開けて家に入る。

「ん? 何かしら すごく臭い。ここ、玄関先なのにつすっごく臭ってくる。これって〜もしかしてっ! あの匂い?。これってもちろんっ精液の匂いよね。

んはあっ はあはあっ くんくん すうすうっ 私の体からかしら。嫌だわ。
でもこれ、向こうから臭ってくるんだけど、すんすんっ なにかしら。 えっ？ ええ
っ!？」

私が叫んだ声でリビングの息子と目が合う。

「んふっ たっだいまあ〜〜。
あはっ 邪魔してごめんなさい。こうちゃん そうちゃん オナニーしてたのね。
でもどれだけ飛ばしちゃったの？ 部屋がすごくイカくさいわよ？部屋中が精液クッサ
イの。
も〜おっ！部屋がこんなに臭くなるまでオナニーしちゃだ、め。よっ。んふ。
あたり一面あなたたちのチンポ汁で真っ白ねっ くすっ ほどほどにして寝なさいね。ん
ふふっ」

いやらしい言葉を息子に向けている私。すごく楽しくなってくる。

「お母さんと同じにおいが充満してるわよ？。んふ お母さんシャワー取って、もう寝る
わ。おやすみなさい。んふ♡

あ、そうそう、んふふふ〜〜 見ちゃった♡
こうちゃんのおなにいてすごいわねっ まるでセックスしてる時みたいに が
んがんに腰振っておちんぼしごくのねっ んふっ♡
腰がこ〜んなふうにへこへこオツかくかくかっくう〜〜ってしてたっ♡」

私は腰の前でちんぼをしごくように手を前後に動かしながら 腰もかくかくかっくうと
踊らせた。

私は息子たちに微笑んでから バスルームへ洋服を脱ぎ散らかしながら歩いていった。

私はたっぷりとちんぼに犯されたせいで、昔の淫乱な私が顔を覗かせているのに気づいて
いなかった。